



アジア航測

POINT

- 防災、環境、社会基盤の先進企業
- 最先端の技術と設備、航空機も完備
- 一人ひとりの強みを生かせる職場

企業・採用情報

設立	▶ 1954年	募集職種	▶ 営業部門・技術部門・管理部門
資本金	▶ 16億7,377万円	募集人数	▶ 随時募集
従業員	▶ 1,158人	募集人材	▶ 文系・理系 新卒・中途 学士・修士
本社	▶ 神奈川県川崎市		
海外拠点	▶ ミャンマー		
事業分野	▶ 空間情報を活用した トータル・コンサルティング		



コートジボワールの「都市インフラ整備のためのデジタル地形図作成プロジェクト」での測量の様子

地理空間情報を基に世界の課題に挑戦

アジア航測は衛星から地上までの最先端のセンシング技術による空間情報を基に、地形図の作成をはじめ、防災、環境、社会基盤のコンサルティングに取り組み。特に防災と環境分野に強く、東日本大震災や熊本地震、阿蘇山や御嶽山の噴火などの際には、災害発生直後に自社保有の航空機を出動させ、集めた情報をいち早く行政機関や自社ウェブサイトで公開し、災害対策の初期対応を支えた。

センシング計測には人工衛星や固定翼航空機、ヘリコプター、レーザーを使った「モビルマッピングシステム」のほか、無人飛行機を使用する。自社航空機6機は東京と大阪に待機し、操縦士・整備士も常時出勤態勢を整えている。現在は国内事業が売上全体の95%を占めるが、中期計画として海外事業を約10%に拡大することを目指す。外国籍の社員を増員しており、2013年にはミャンマーの現地法人を設立した。

インフラ建設の基礎となる地図データは、新興国・開発途上国での需要が拡大しており、同社は地図作成のプロジェクトを継続的に受注してきた。近年は「ASEAN防災ネットワーク構想」にも参画しており、相次ぐ大規模自然災害の発生や社会インフラの劣化など、さまざまな課題への対処に欠かせない情報の取得からコンサルティングまで、一貫した技術を生かした貢献が可能だ。

国内外の社会インフラへのニーズが高まる中、環境変化に対応できる人材を随時採用している。事業領域が多様な分、活躍できるフィールドも広く、挑戦することを応援する社風がそれを支えている。

社員に聞きました！



海外事業部技術部
(信州大学大学院農学研究科修了)

和智 明日香 さん
Wachi Asuka

これまでの主な担当プロジェクト

- ミャンマーの衛星画像を活用した土地利用図作成
- カンボジアのGIS解析と研修・判読指導
- 林野庁や都道府県の森林域の航空レーザ解析業務

学生時代

高校時代から自然や山が好きで、進学先選びは森林学科がある大学に絞っていました。大学では午前が講義、午後は演習林などで実地作業という日が多く、まさに森林の中で過ごした6年間でした。卒論・修論研究を通じて森林の状況や境界を図化して分析する「森林GIS」の手法を習得。その技術を生かせる就職先として当社を勧められたのが、入社を志望するきっかけとなりました。

入社後

国内の環境部に配属となり、森林系に関わらず植物や河川関係の案件も担当しました。川の上流域や環境規制区域など、通常は立ち入れない場所に入って調査したことが記憶に残っています。その一方で、森林系の業務に携わりたいという意思表示を続け、念願がなって、社内に新設された森林環境課で働くこととなりました。

海外事業部に異動

以前から海外業務に興味はありながら、具体的な方向性までは明確にイメージできていなかったとき、海外事業部の社内公募を目にしたのです。悩んだ末、思い切って挑戦しようと思った結果、海外事業部への異動が決まりました。最初の仕事はバングラデシュでのプロジェクトです。なかなか交渉が進まない中でプロジェクトをどう動かしていくか、国内とは違う仕事のやり方を体感するところから、新しい部署での挑戦が始まりました。

今日のTo Do!

- ✓ GISデータの判読作業
- ✓ 社内研修会の委員会出席
- ✓ 営業に同行して外出
- ✓ 社内の打ち合わせ

印象深いプロジェクトや業務は？

海外事業部に異動して2年目に、ミャンマーでの土地利用図作成に関する現地調査の責任者になりました。衛星画像を活用したこのプロジェクトでは、現地調査と、解析したデータを基に地図を作成する業務に当たりました。上司や先輩は同行せず、現地では私がすべての判断や指示をする立場でしたが、大きなトラブルもなく完了できました。責任ある仕事をやり遂げて一歩前進した気がします。

地図ができるということは、その地域にとって大きな変化であり、ミャンマーでもたくさんの関係者が喜んでくれました。データの収集から始まり、最終的に地図が完成したときの達成感は何ものにも代えられません。



この仕事を目指す読者へ一言

ずっと国内の森林に関する仕事をしてきて、留学経験もなかった私ですが、「それでもやってみよう」と思い切って手を挙げたことで、夢だった海外での仕事が実現しました。国内で培った専門性は海外でも応用できますし、助けてくれる先輩や同僚もいます。実務を経験しながら成長できる仕事なので、やる気がある人はぜひ飛び込んでみてください。

Company Data



アジア航測(株)

代表者
代表取締役社長 小川紀一郎
〒215-0004
神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2
新百合トゥエンティワン3階
TEL 044-969-7230(代)
Email info@ajiko.co.jp





アジア航測株式会社

社員インタビュー



ジンバブエ測量局地形図作成能力強化プロジェクト
(民間ベースのコストシェア技術協力)
地形図作成能力強化支援

インフラ案件



ジンバブエとの長年のつながり背景に、
地形図作成のスキルアップ支援



写真から地形図を作り出す
ソフトの用法を、細部にわたり伝授



今後の地図作りや、
さらなる技術協力につながる第一歩

ジンバブエ



大学を卒業して仕事を
する中で、顧客の満足をも
と追求したいと考え始めま
した。目標を立て、工夫し
ながら仕事ができるようにな
ったのですが、同時に新
たな環境に挑戦したい気持
ちになったのです。そんな
時に青年海外協力隊を知り
「海外で自分を試してみたい、
貴重な経験ができる」と
参加を決めました。任地
は西アフリカの小国ベナン。
現地の人たちに溶け込み課
題を探すつもりが、逆に大
らかなアフリカの暮らしの
すばらしさを学ぶ結果とな
りました。

帰国後、途上国の生活環
境改善に役立つ仕事をした
と考え、この会社就職
しました。空間情報は、水
や電気など、インフラ整備
の基礎となるからです。昨
年11月の入社後、希望の海
外事業部に配属され、いく
つかの案件に関わっていま
す。印象的だったのはジン
バブエでの地形図作成指導



川端 俊介 さん
Kawabata Shunsuke
海外事業推進部 営業一課

キャリアパス

大学を卒業し、就職
顧客満足を考える

ターニング
ポイント
協力隊でベナンへ
小さな町の問題解決担当
初めての海外滞在から
仕事で途上国への熱意に

アジア航測に入社
ビジネス通じ途上国と
関わる

私の「交通ルール」の話

ベナンでの任地は小さな田舎町。人がかろうじてす
れ違える狭い道の両脇に、背丈以上の草が生い茂っ
ている場所もありました。そんな道で羊の群れとす
れ違っていると、羊が片側に寄って通してくれるんですよ。

社長からの一言！



代表取締役社長
小川 紀一郎 さん
Ogawa Kiichiro

我が社の「ビジョン」

新たな空間ビジネスの 可能性に挑戦

新時代の社会基盤整備を踏まえ、技術革新を通じて
人々の暮らしを支えるのが、私たちの目標です。「新
たな空間情報ビジネスの可能性に挑戦し、成長し続
けるグローバル企業」を目指します。

国際協力業界を「目指す人へ」

チャレンジ精神を持ち 若いうちに海外を目指して

チャレンジ精神を持ち、思い切って海外に挑戦して
ください。若い時は行動しやすく、吸収力も高い状
態です。技術的経験を重ねるだけではなく、自分自
身を成長させるチャンスでもあります。

会社概要 Company Profile

空間情報収集から課題解決まで 一貫したコンサルティング体制

アジア航測は、衛星から地上まで、最先端の計測量技
術を生かした空間情報を元に地形図を作成し、防災、環
境、社会基盤整備など幅広い分野のコンサルティングを
手掛ける。新興国・開発途上国ではインフラ整備の基礎
となる地図データの需要が拡大しており、同社はこの分
野で継続的にプロジェクトを受注。災害対策や社会イン
フラの劣化対策など、課題解決に向けたコンサルティング
まで一貫して手掛けられるのが強みだ。



Personality desired

求める人物像

技術革新を通じて 未来を豊かにできる人を

私たちの使命は、絶え間ない技術革新を通じて人々
の暮らしの豊かさを追求し、安全・安心の持続的発
展に寄与していくことです。技術者として高い倫理
観と強い責任感を持ち、グローバルな視点での環境
保全、国土保全への貢献を目指して顧客の要望に迅
速に対応する意欲のある仲間を求めています。



設 立：1954年
資 本 金：1,673,778,000円
従 業 員：1,203人
本 社：神奈川県川崎市
海外拠点：ミャンマー
事業分野：民間セクター、都市開発、防災、ICT、インフラ、
資源・エネルギー、水と衛生、環境・気候変動、
貧困削減、平和構築、農業・農村開発

住 所：〒215-0005
神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2
新百合トウェンティワン3階
Tel：044-969-7230
Mail：info@ajiko.co.jp
HP：http://www.ajiko.co.jp





アジア航測株式会社



マケドニア東部山間部の現地視察

設立：1954年
 資本金：1,673,778,000円
 従業員：1,241人(2018年9月現在)
 本社：神奈川県川崎市
 事業分野：民間セクター、都市開発、防災、ICT、
 インフラ、資源・エネルギー、水と衛生、
 環境・気候変動、貧困削減、平和構築、
 農業・農村開発
 募集職種：営業部門、技術部門、管理部門
 募集人数：随時募集
 住所：〒215-0004
 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-2-2
 新百合トウェンティワン3階
 TEL：044-969-7230
 MAIL：tk.jinji@ajiko.co.jp
 HP：https://www.ajiko.co.jp/

地理空間情報を基に
世界の課題に挑戦

勉強好きな新人に期待
社内教育制度が充実

アジア航測は、衛星から地上、そして水中までの最先端のセンシング技術による空間情報を基に、地形図の作成をはじめ、防災・環境、森林保全、インフラ保全などの幅広い分野で、公共性の高い事業でのコンサルテイングに取り組んでいる。特に防災と環境分野に強く、今まで災害対策の初期対応を支えてきた。世界的な気候変動や生物多様性、自然災害への対応が課題となっている社会において情報通信技術（ICT）などの最新技術や空間情報技術を駆使し、課題解決に向けたソリューションの提供ができるのが大きな強みだ。ODA事業においては、インフラ設備の基礎となる地図データの作成を継続的に受注し、さらに海外の森林保全に力を入れており、REDD+やECO・DRRなどの事業も実施している。全社で、海外事業の推進を目指している。

同社では人材育成のため、社内教育制度を充実させている。昇給ごとに受講する階層別研修、一流講師陣による技術士伝承講座、「技術士」「測量士」などの資格取得対策講座を用意している。「私が新人研修で必ず言うのは、技術を高める勉強をなさいな」ということ」と代表取締役社長・小川紀一朗さん。自分の興味や関心を掘り下げる「勉強好き」の新人を期待しているという。

現在開発中なのは、GPSが届かない地下街やトンネルなどでも位置測定ができる「屋内測位」という技術。東京オリンピック・パラリンピック開催で需要が見込まれている。「空間情報はもはや人間が手放せない水のようなもの。同じ水でも、きれいな水を創り出すのが当社の役割。その仕事は尽きることがありません」と笑顔で応えてくれた。

社員の声

北マケドニアで初のプロジェクト

入社以来、契約管理や精算など国内支援業務を担当していましたが、昨年「業務調整/広報」として初めてJICAのプロジェクトに参加しました。北マケドニア共和国という私には全くなじみのない国での業務でしたが、いざ行ってみると人々は穏やかでおしゃべり好き。1963年同国での大震災の復興計画に日本人建築家が尽力したことから、日本に対して親しみを持っていることにも驚かされました。

仕事の現場では、カウンターパートと意見が食い違うなど、文化や法律が異なる中で立ち回る問題を1つ1つ解決しながら進めていく状況。今までは、不備だらけの書類を持ち帰る技術担当社員をいつも注意していたのですが、書類の詳細まで気を回す余裕がない状況も理解でき、そんな現場をしっかりと支える業務調整の役割の重要性についても痛感した初めてのプロジェクト経験でした。



アジア航測に入社

民間企業に入社

東京農業大学
 国際食料情報学部
 国際農業開発学科を卒業

私のキャリアパス

出張必須アイテム

「龍角散のど飴」

北マケドニアは内陸国のため、非常に乾燥しています。特に冬は石炭を焚くため、盆地の首都スコピエは空気が悪く、のど飴が欠かせませんでした。



縁あって入った会社 やりがいを感じています

農業大学出身ですが、就職活動で食品や農業関連の企業面接を受けても将来像が描けず、ダンスなど身体を動かすのが好きだったのでスポーツクラブに就職しました。そこで米国との業務を行う部署で渉外業務などを担当。未熟な英語力で海外出張へ送り出され、何度も壁に当たり、海外でも対等に活躍できる人材になりたいと思いました。

その後、少しでも海外での経験を積みたいと思っていた時に出会ったのがアジア航測でした。海外事業推進部の出張先は一般的な旅行では行かない国ばかり。出張に行くと1～2カ月は日本に帰ってきません。部員はみな自己主張が強く、社内での討論は日常茶飯事。言語の壁に隠せず現地とやり取りする姿を見て、海外との仕事に対する私の固定概念が覆されました。今ではJICAのプロジェクトに参加する機会にも恵まれ、新たな挑戦ができることにやりがいを感じています。

松本 あかりさん
 海外事業推進部